

【伊藤総領事メッセージ 2019年11月】

日本ではスポーツの秋たけなわの頃となりました。今年はラグビー・ワールドカップが日本で開催され、日本代表チーム「ブレイブ・ブロッサムズ」がアイルランドやスコットランドを破って初のベスト8入りを果たしたことで、日本国内ではラグビー熱が盛り上がっていましたが、日本チームの活躍はカナダでも報道されていました。しかし、それにも増してうれしかったのは、このワールドカップに出場していたカナダ・チームが、釜石での試合が台風19号のために中止となってしまった後、台風の被害を受けた釜石の人々のためにボランティアで土砂の清掃をしてくれたという知らせです。地元の人々のみならず日本中の人々が、カナダ・チームの心優しい行動にこの上なく心を打たれたといえましょう。カナダ・チームの人々は、日本の人々から受けた素晴らしい応援やおもてなしへの御礼としてこのような支援をしてくれたとのことで、善意の連鎖があったとも言えましょう。また、あまり報道はされていませんが、カナダ・チームの選手



たちは東日本大震災の被災者のために「釜石祈りのパーク」を訪れての献花や、釜石市内の「いのちをつなぐ未来館」の見学なども行ったそうです。

カナダのラグビーチームに関して言えば、本年7月、トロントにある小児リハビリ病院の子ども達と、東日本大震災で被災しトロントを訪問していた子ども達とが一緒に大漁旗を制作し、訪日するカナダのラグビーチームに贈呈しました。この旗は、カナダ・チームと一緒に日本各地を回っていたとのことです。このような両国の子ども達からの友情と励ましの気持ちがかナダの選手達に十分伝わったことも、彼らによるボランティア活動の背景にあったのではないかと思います。



10月20日には、爽やかな秋空の下、トロント市内で2万6千人が参加するマラソン大会が開催されました。5km、ハーフマラソン、フルマラソンの3つのカテゴリーがありますが、フルマラソンは外国からトップレベルの選手を招待しての本格的なマラソン大会です。



今年のマラソン大会では、カナダ人選手でトップになり、オリンピック参加標準記録を突破した男女各一名の選手は来年のオリンピックへの参加が内定することでしたので、来年のオリンピックの主催国である日本の総領事も関与させてくれなにかと話をもちかけたところ、主催者側も喜び、事前の記者会見、スタート時のエアホーンを使った合図、そして表彰式へ出席することが出来ました。事前の記者会見では、来年のオリンピックのマスコットであるミライトワ、パラリンピックのマスコットであるソメイティに込められた意味について話すことができ、また、「復興の火」となる聖火のリレーが福島から始まることを、閉会式では、日本の「おもてなし」でみなさんをお迎えする用意があることなど伝えました。

マラソンの結果は、男女ともにアフリカ各国から招待された選手たちが上位を独占しましたが、カナダ人トップとしてゴールした選手は男女とも自己ベストを大きく更新し、参加標準記録を突破して来年のオリンピックへの参加資格を勝ち取りました。東京2020大会の3つの基本コンセプトの一つは、「全員が自己ベスト」です。トロントマラソンで勝利を収めたカナダの両選手のこれまでの努力に敬意を表するとともに、来年の東京でも再び自己ベストを更新する活躍を期待したいと思います。



さて、トロントの姉妹都市は神奈川県相模原市ですが、本年4月に新しく相模原市長に選出された本村賢太郎市長が、10月上旬に初めてトロントを訪問され、カナダ・ボート協会会長とも会談されました。今年の夏、既にカナダのジュニア・ボートチームは相模湖で国際大会に備えての練習を行っており、本村市長からは来年のオリンピック・パラリンピック本番でも相模湖で調整を行

ってほしいとのアピールをされました。相模湖は1964年の東京オリンピックの際にカヌー競技が開催された場所でもあります。トロントと姉妹都市関係にある相模原市で、カナダの選手が心置きなく練習し、地元の人々との交流も実現することを願っています。



秋はまた、芸術の季節でもあります。日加修好90周年記念として、また新しい令和の時代の到来を記念して、11月上旬には英語落語・紙切り・太神楽曲芸からなる「カナダ寄席演芸公演」を、また11月下旬には大蔵流茂山狂言の公演を予定しています。「笑う門には福来たる」のテーマの下で、日本に数百年前から伝わる伝統芸能をお届けしますが、時代や国境を越え、カナダの人々にも笑って幸せになってもらえる演目だと確信しています。いずれの公演も、公演者の皆様から特別の御厚意により、観覧無料での公演が実現しましたので、是非とも当地の皆様にお楽しみいただきたいと思えます。

日本文化芸術交流国際交流基金助成事業 カナダ寄席演芸公演

Yose Arts Performances
Traditional Japanese Vaudeville
in Canada

“Fortune favours those who laugh!”

Fully experience the energies of yose! Don't dare miss the English rakugo "Fumotoku" (Toku the Boss-man) along with Japanese pieces!

笑門来福

November 7, 2019
Doors open | 6:30 pm
Performance | 7:00 pm

Japanese Canadian Cultural Centre
6 Garamond Court, Toronto

Daikagura
Kagami Michiya

Kami Kiru
Hayashige Inomaru

Rakugo
Senshoku Charaku

Admission is **FREE** but requires **pre-registration**.
Please register at event@to.mofa.go.jp

For more information:
https://www.toronto.ca/emb-japan.jp/tpc_en/9_000440.html

